

悪性腫瘍の病期診断

—治療法と予後の分岐点を見極める—

01 頭頸部 田中宏子

1 疫学・治療法・予後の概略	9
2 病理分類の概略	10
3 病期診断(TNM)の概略	11
4 治療法と予後を決める分岐点	11
4-1. 局所制御から見たポイント	12
4-2. 頸部制御から見たポイント	14
5 腫瘍部位別の治療法と予後	14
5-1. 上顎洞癌	14
5-2. 口腔癌	14
5-3. 上咽頭癌	17
5-4. 中・下咽頭癌, 喉頭癌	18

02 甲状腺 奥田逸子, 縄野 繁, 中島康雄

1 疫学	23
2 病理分類の概略	25
3 病期診断(TNM)の概略	25
4 甲状腺の解剖	27
5 甲状腺腫瘍の画像診断	27
5-1. 頸部超音波検査	27
5-2. CT・MRI検査	28
5-3. 核医学検査	29
6 画像診断による病期診断	29
6-1. T分類の評価	29
6-2. N分類の評価	30
6-3. M分類の評価	30

03 肺 井上敦夫, 富山憲幸

1 疫学・治療法・予後の概略	37
2 病理分類の概略	37
3 病期診断 (TNM) の概略	39
3-1. T分類	39
3-2. N分類	40
3-3. M分類	42
4 治療法と予後を決める分岐点	42
4-1. 病理診断から見たポイント	42
4-2. 病期診断から見たポイント	45

04 乳腺 戸崎光宏

1 病期診断 (TNM) の概略	55
2 T因子診断	55
3 N因子診断	59
4 M因子診断	60

05 食道・胃 伊牟田真功, 山村定弘, 山下康行

1 疫学・治療法・予後の概略	65
1-1. 食道癌	65
1-2. 胃癌	66
2 病期診断 (TNM) の概略	67
2-1. 食道癌	67
2-2. 胃癌	74
3 治療法と予後を決める分岐点	81
3-1. 病期診断から見たポイント	81

06 結腸・直腸 西牟田雄祐, 古森正宏, 鶴丸大介, 浅山良樹, 平賀聖久, 本田 浩

1 大腸癌の疫学	85
2 大腸癌の病理分類	85
3 大腸癌の治療方針・予後	88
4 大腸癌の治療方針の分岐点	89
5 画像による大腸癌の病期診断	91
5-1. 壁深達度	91
5-2. リンパ節転移	97
5-3. 遠隔転移	97

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

07 肝・胆道

高橋正明, 山田 哲, 藤田 顕, 所 博和,
大彌 歩, 柳澤 新, 黒住昌弘, 角谷真澄

1 原発性肝癌	101
1-1. 肝細胞癌	101
1-2. 肝内胆管癌	105
2 胆道癌	110
2-1. 肝外胆管癌	110
2-2. 胆嚢癌	113
2-3. 乳頭部癌	115

08 膵

市川新太郎, 市川智章, 荒木 力

1 疫学・治療法・予後の概略	117
2 病理分類の概略	118
3 病期診断 (TNM) の概略	119
3-1. 通常型膵管癌の画像所見	119
3-2. 局所進展 (T)	120
3-3. リンパ節 (N)	124
3-4. 遠隔転移 (M)	125
3-5. IPMN および IPMN 由来浸潤癌	125
4 治療法と予後を決める分岐点	128
4-1. 病理診断から見たポイント	128
4-2. 病期診断から見たポイント	128

09 腎・尿管・膀胱

高橋 哲, 北島一宏, 上野嘉子, 杉村和朗

1 疫学・治療法・予後の概略	131
1-1. 腎癌	131
1-2. 尿路上皮癌	132
2 病理分類の概略	134
2-1. 腎癌	134
2-2. 尿路上皮癌	134
3 病期診断 (TNM) の概略	134
3-1. 腎癌	134
3-2. 尿路上皮癌	137
4 治療法と予後を決める分岐点	138
4-1. 病理診断から見たポイント	138
4-2. 病期診断から見たポイント	144

10 前立腺 稗田洋子, 吉廻 毅, 北垣 一

1 疫学・診断・治療法・予後の概略	153
2 病理分類の概略	155
2-1. 組織型分類	155
2-2. 悪性度評価 (Gleason分類)	155
3 病期診断 (TNM) の概略	156
3-1. 正常前立腺の画像	156
3-2. 前立腺癌の画像的特徴	158
3-3. TNM 因子の評価について	158
4 治療法と予後を決める分岐点	162
4-1. 病理診断から見たポイント	162
4-2. 病期診断から見たポイント	162

11 子宮 岡田博司, 高濱潤子, 大倉 享, 古市欣也, 松浦亜矢子, 居出弘一, 岩崎 聖, 吉川公彦

1 疫学・治療法・予後の概略	165
1-1. 子宮頸癌	165
1-2. 子宮体癌	165
2 病理分類の概略	166
2-1. 子宮頸癌	166
2-2. 子宮体癌	166
3 病期診断 (TNM) の概略	166
3-1. 子宮頸癌	166
3-2. 子宮体癌	170
4 治療法と予後を決める分岐点	172
4-1. 病理診断から見たポイント	172
4-2. 病期診断から見たポイント	174
5 子宮体部肉腫	175
5-1. 平滑筋肉腫/内膜間質肉腫	175
5-2. 腺肉腫	178

12 卵巣 木口佳代, 木戸 晶, 富樫かおり

1 疫学・治療法・予後の概略	181
1-1. 疫学	181
1-2. 治療法	181
1-3. 予後	184
2 病理分類の概略	185
3 病期診断の概略	186

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

4 治療法と予後を決める分岐点	186
4-1. 卵巣癌の発生から見たポイント	186
4-2. 病期診断から見たポイント	187

13 悪性リンパ腫 尾西由美子

1 疫学・治療法・予後の概略	197
1-1. 疫学	197
1-2. 治療法	197
1-3. 予後	198
2 病理分類の概略	200
3 病期診断の概略	200
4 治療法と予後を決める分岐点	203
4-1. ホジキンリンパ腫の治療法と予後	203
4-2. 非ホジキンリンパ腫の治療法と予後	203
索引	207

NOTE

HPV (human papilloma virus)	10
Plummer-Vinson 症候群	10
頭頸部の表在癌	11
EGFR (epidermal growth factor receptor)	11
国際対がん連合 (Union for International Cancer Control ; UICC)	23
PET-CT の読影方法	50
内視鏡的粘膜下層剥離術 (endoscopic submucosal dissection ; ESD)	65
側方発育型腫瘍 (laterally spreading tumor ; LST)	88
内視鏡的粘膜下層剥離術 (endoscopic submucosal dissection ; ESD)	89
簇出 (budding)	91
CT colonography (CTC)	96
Ultrasmlal Superparamagnetic Iron Oxide (USPIO)	103
エルロチニブ (タルセバ)	118
groove	121
膝頭神経叢第 I 部, II 部	124
von Hippel Lindau (VHL) 病	131
Birt-Hogg-Dubé (BHD) 症候群	131
血管筋脂肪腫	138
「待機療法」と「PSA 監視療法」	155
IGBT (image-guided brachytherapy)	175
staging laparotomy (外科的病期診断)	182
cytoreduction	182
debulking	182
debulking (cytoreductive) surgery (腫瘍減量手術)	182
ゼヴァリン	199

序文の Quiz 回答 選択すべき治療法は、腫瘍栓を含めた右葉後区域切除。期待される予後は3年あまり。本症例は再発1回(切除)で8年生存中。